

## ア 介護保険

事業名	通所型介護予防事業		会計	08	介護保険特別会計	予算区分	経常
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予 算 科 目	款 項 目	03 01 01	地域支援事業費 介護予防事業費 二次予防事業費	
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長		早川 仁	事業コード	02 — 01
主管課	健康福祉部 介護支援課		主管課長		早川 仁	事業コード	02 — 01
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	二次予防事業対象者把握事業により把握した二次予防事業対象者		二次予防事業対し、適切なプログラムを実施することにより、要介護状態等になることを予防する。				
事業内容	二次予防事業の対象者に、運動器の機能向上プログラム、栄養改善プログラム、口腔機能の向上プログラムを実施することにより、要介護状態等になることを予防し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援する。						
事業の実績	参加者数	166	人	決算額	事業費計		9,214,667 円
	対象者数	5,461	人		国庫支出金	2,303,667 円	
	対象者のうち参加者の割合	3	%		県支出金	1,151,833 円	
	教室稼働率	87.30	%		分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	5,759,167 円			
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無

事業名	高齢者介護予防普及啓発事業			会計	08	介護保険特別会計	予算区分	経常
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山(市民福祉の充実)		款	03	地域支援事業費		
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		項	01	介護予防事業費		
				目	02	一次予防事業費		
主管課	健康福祉部 介護支援課			主管課長	早川 仁		事業コード	01 - 01
事業目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)				
	65歳以上の市民及びその支援の活動に関わる者			介護予防に関する知識の普及啓発。				
事業内容	65歳以上の市民を対象として、要介護・要支援状態となることを予防するための介護予防に関する知識の啓発のための講演会の開催やパンフレットの作成・配布を行う。							
事業の実績	講演会参加人数	349 人		決算額	事業費計		420,221 円	
					国庫支出金	105,055 円		
					県支出金	52,528 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
			その他特定財源	262,638 円				
			一般財源	0 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況		繰越の有無	無	継続費の設定	無	



認知症講演会

事業名	介護支援サポーター事業		会計	08	介護保険特別会計	予算区分	経常
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予 算 科 目	款 項 目	03 01 02	地域支援事業費 介護予防事業費 一次予防事業費	
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり					
主管課	健康福祉部 介護支援課		主管課長	早川 仁		事業コード	02 — 02
事業目的	対象（誰を・何を） 要支援、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者		意図（どういう状態にしたいのか） 高齢者の社会参加を通じた介護予防の推進。				
事業内容	介護支援サポーターとして登録を行った65歳以上の方が市内の介護施設（特別養護老人ホームやデイサービスセンターなど）で、サポーター活動（見守り、話し相手、レクリエーションの補助、配膳など）を行った場合に、その活動実績に応じた活動評価ポイントを転換交付金、ながぼんポイントに交換できる制度である。						
事業の実績	介護支援サポーター登録者数	207	人	決算額	事業費計		4,807,907 円
	活動者数	120	人		国庫支出金	1,201,977 円	
					県支出金	600,988 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	3,004,942 円	
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	無



介護支援サポーター活動の様子

## イ 後期高齢者医療

事業名 給付事務事業		会計		09	後期高齢者医療特別会計	予算区分	経常		
		予 算 科 目	款	01	総務費				
政 策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）		項	01	総務管理費			
施 策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		目	01	一般管理費			
主管課		健康福祉部 高齢者生きがい推進課		主管課長		今野 忠光	事業コード 04 — 01		
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	後期高齢者医療制度の被保険者（75歳以上の高齢者及び65歳以上の障害認定者）			後期高齢者医療被保険者の健康の保持増進と適切な医療を確保する。					
事業内容 後期高齢者医療制度加入者（被保険者）への医療給付等（高額療養費、葬祭費、高額介護合算療養費）に対して、適正に通知を行う。									
事業の実績	被保険者数（平均被保険者数）		15,782	人	決算額	事業費計		200,910 円	
	葬祭費の支給件数		820	件		国庫支出金	0 円		
						県支出金	0 円		
						分担金・負担金	0 円		
						使用料・手数料	0 円		
						基金繰入金	0 円		
						地方債	0 円		
				その他特定財源	200,910 円				
				一般財源	0 円				
指標で表すことができない定性的な成果		被保険者の健康の保持増進が図られ、医療費の適正化が期待できる。		繰越・継続費の状況		繰越の有無	無	継続費の設定	無

事業名 保険料徴収管理事業		会計		09	後期高齢者医療特別会計	予算区分	経常		
		予 算 科 目	款	01	総務費				
政 策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）		項	02	徴収費			
施 策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		目	01	徴収費			
主管課		健康福祉部 高齢者生きがい推進課		主管課長		今野 忠光	事業コード 01 — 02		
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	後期高齢者医療制度の被保険者（75歳以上の高齢者及び65歳以上の障害認定者）			後期高齢者医療制度の安定した制度基盤を確立する。					
事業内容 広域連合により算定された年度の保険料額に基づき、徴収する。									
事業の実績	保険料の収納率（現年度分）		99.50	%	決算額	事業費計		5,558,970 円	
	保険料の収納率（滞納繰越分）		44.90	%		国庫支出金	0 円		
	コンビニエンスストアでの収納件数		2,482	件		県支出金	0 円		
						分担金・負担金	0 円		
						使用料・手数料	0 円		
						基金繰入金	0 円		
						地方債	0 円		
				その他特定財源	5,558,970 円				
				一般財源	0 円				
指標で表すことができない定性的な成果		被保険者の健康の保持増進が図られ、医療費の適正化が期待できる。		繰越・継続費の状況		繰越の有無	無	継続費の設定	無

## ウ 国民健康保険

事業名	特定健康診査等事業		会計	02	国民健康保険特別会計	予算区分	政策
			予 算 科 目	款 項 目	08 01 01	保健事業費 特定健康診査等事業費 特定健康診査等事業費	
政 策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）					
施 策	4-4	健康で明るい暮らしづくり					
主管課	健康福祉部 健康増進課		主管課長	増田 恒夫		事業コード	01 — 51
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	40歳以上の国民健康保険の被保険者		メタボリックシンドロームに着目した健診と保健指導を実施し、生活習慣病を予防する。				
事業内容	特定健康診査は、生活習慣病やメタボリックシンドロームの発症・進行を防ぐことを目的としており、健診結果でメタボリックシンドロームのリスクが高い対象者に対して、健康的な生活習慣を身につけるための特定保健指導を実施する。（健診項目）診察・身体計測・血圧測定・血液検査・尿検査など。						
事業の実績	対象者数	31,216	人	決算額	事業費計		115,410,978 円
	受診者数	12,669	人		国庫支出金	32,965,000 円	
	受診率	40.60	%		県支出金	32,965,000 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	49,480,978 円	
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	

事業名	人間ドック助成事業		会計	02	国民健康保険特別会計	予算区分	経常
			予 算 科 目	款 項 目	08 02 01	保健事業費 保健事業費 保健衛生普及費	
政 策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）					
施 策	4-4	健康で明るい暮らしづくり					
主管課	市民生活部 国保年金課		主管課長	湯浅 邦彦		事業コード	01 — 03
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	35歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者		疾病の早期発見・早期治療を行い、高額な医療費の削減を目的とする。				
事業内容	短期人間ドックは、標準的な健康診断項目について、自己負担額12,600円を支払い、市内8か所の医療機関で検査を受ける。						
事業の実績	利用助成件数	1,443	人	決算額	事業費計		42,503,370 円
					国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	42,503,370 円	
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	

## 工 土地区画整理事業

事業名	西平井・鱒ヶ崎地区土地区画整理事業		会計	07	土地区画整理事業特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	02	土地区画整理事業費	
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	項	01	西平井・鱒ヶ崎地区土地区画整理事業費		
			目	01	西平井・鱒ヶ崎地区土地区画整理事業費		
主管課	都市整備部 西平井・鱒ヶ崎地区区画整理事務所		主管課長	宮崎 浩		事業コード	01 — 51
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	西平井・鱒ヶ崎地区内住民			公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図ることにより、地区内住民の生活利便性の向上を目指す。			
事業内容	「宅鉄法」に基づき、鉄道整備と宅地開発を一体的に計画・整備するものであり、土地区画整理事業により道路、公園等の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図ることにより、地区内住民の生活利便性の向上を目指すものである。						
事業の実績	事業進捗率	81.60	%	決算額	事業費計		932,240,623 円
	仮換地指定率	95.90	%		国庫支出金	72,239,000 円	
	道路整備延長率	75	%		県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	265,000,000 円	
					その他特定財源	595,001,623 円	
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	住宅の建築申請が55件あり、事業の進捗に伴い街並みが形成されてきている。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	有	継続費の設定	無
				前年度からの明許繰越額493,387,060円 前年度からの事故繰越額2,953,100円 翌年度への明許繰越額470,161,257円 翌年度への事故繰越額358,000円			



都市計画道路3・3・2号線



事業名	鱈ヶ崎・思井地区土地区画整理事業		会計	07	土地区画整理事業特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款 02	土地区画整理事業費		
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	項 目	02	鱈ヶ崎・思井地区土地区画整理事業費		
主管課	都市整備部 西平井・鱈ヶ崎地区区画整理事務所		主管課長	宮崎 浩		事業コード	01 — 51
事業目的	対象（誰を・何を） 鱈ヶ崎・思井地区内住民		意図（どういう状態にしたいのか） 公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図ることにより、地区内住民の生活利便性の向上を目指す。				
事業内容	「宅鉄法」に基づき、鉄道整備と宅地開発を一体的に計画・整備するものであり、土地区画整理事業により道路、公園等の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図るものである。						
事業の実績	事業進捗率	6.50	%	決算額	事業費計		224,703,985 円
	仮換地指定率	3.30	%		国庫支出金	5,500,000 円	
	道路整備延長率	0	%		県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	219,203,985 円			
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	有	継続費の設定	有	平成25年度から3か年継続事業580,692,000円 平成25年度決算額24,350,000円 翌年度への通次繰越額36,000,000円 翌年度への明許繰越額445,035,000円



鱈ヶ崎調整池

## オ 公共下水道

事業名	江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業		会計	05	公共下水道特別会計	予算区分	政策
			予 算 科 目	款 項 目	02 01 01	公共下水道事業費 公共下水道事業費 既成市街地汚水事業費	
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）					
施 策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進					
主管課	土木部 下水道建設課		主管課長	矢幡 哲夫		事業コード	03 — 51
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	江戸川左岸流域関連公共下水道		公共下水道の整備を図る。				
事業内容	江戸川左岸流域関連公共下水道(汚水)の整備を行う。						
事業の実績	各年度の整備面積	23.58	ha	決算額	事業費計		926,416,909 円
	各年度整備延長	5,310.30	m		国庫支出金	320,200,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	320,200,000 円	
その他特定財源	286,016,909 円						
一般財源	0 円						
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況		繰越の有無		有	継続費の設定	無
			前年度からの明許繰越額62,446,800円 前年度からの事故繰越額20,709,584円 翌年度への明許繰越額242,400,000円				



東深井地先の推進工法による汚水管布設状況



事業名	手賀沼流域関連公共下水道整備事業			会計	05	公共下水道特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）			予 算 科 目	02	公共下水道事業費	
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進			項 目	01	公共下水道事業費	
主管課	土木部 下水道建設課			主管課長	矢幡 哲夫		事業コード	03 — 53
事業目的	対象（誰を・何を） 手賀沼流域関連公共下水道			意図（どういう状態にしたいのか） 公共下水道の整備を図る。				
事業内容	手賀沼流域関連公共下水道(汚水)の整備を行う。							
事業の実績	各年度の整備面積	4.64	ha	決算額	事業費計		248,681,050 円	
	各年度整備延長	677.80	m		国庫支出金	74,000,000 円		
					県支出金	0 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	74,000,000 円		
			その他特定財源	100,681,050 円				
			一般財源	0 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無 有 継続費の設定 無 前年度からの明許繰越額70,692,650円 前年度からの事故繰越額13,419,000円 翌年度への明許繰越額8,000,000円					



駒木台地先の人孔設置状況

事業名	地区内汚水整備事業		会計	05	公共下水道特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款 項 目	02 01 02	公共下水道事業費 公共下水道事業費 つくばエクスプレス沿線関連汚水事業費	
施策	1-4 快適な生活環境を目指した下水道整備の推進						
主管課	土木部 下水道建設課		主管課長	矢幡 哲夫		事業コード	01 — 51
事業目的	対象（誰を・何を） つくばエクスプレス沿線整備区域（新市街地区等3地区）内に居住する住民		意図（どういう状態にしたいのか） つくばエクスプレス沿線整備区域内の公共下水道（汚水）整備推進により住環境の向上を図る。				
事業内容	つくばエクスプレス沿線整備区域内の公共下水道（汚水）の整備を推進することで、住環境を向上し区画整理地の整備・活用を促進する。						
事業の実績	各年度の整備面積	19.0	ha	決算額	事業費計		228,276,856 円
	各年度整備延長	6,411	m		国庫支出金	41,900,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	116,700,000 円	
			その他特定財源	69,676,856 円			
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果			繰越・継続費の状況	繰越の有無 有 継続費の設定 無 前年度からの明許繰越額24,000,000円 翌年度への明許繰越額107,400,000円			



区画整理地区の開削工法による污水管布設状況

事業名	地区内雨水整備事業		会計	05	公共下水道特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	02	公共下水道事業費	
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	項	01	公共下水道事業費		
			目	03	つくばエクスプレス沿線関連雨水事業費		
主管課	土木部 下水道建設課		主管課長	矢幡 哲夫		事業コード	01 — 56
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	つくばエクスプレス沿線土地区画整理地区内に居住する住民		つくばエクスプレス沿線整備区域内の雨水を速やかに排除・処理することにより住環境の向上を図る。				
事業内容	つくばエクスプレス沿線整備区域内の公共下水道（雨水）の整備を推進することで、住環境を向上し区画整理地の整備・活用を促進する。						
事業の実績	各年度の整備面積	3.5	ha	決算額	事業費計		143,935,750 円
	各年度の整備延長	1,465	m		国庫支出金	16,500,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	67,500,000 円	
			その他特定財源	59,935,750 円			
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無 有 継続費の設定 無				
			前年度からの明許繰越額28,658,500円 翌年度への明許繰越額85,500,000円				



駒木地先下水道管布設工事の様子



事業名	向小金雨水幹線整備事業		会計	05	公共下水道特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山(都市基盤の整備)	予 算 科 目	款 項 目	02 01 04	公共下水道事業費 公共下水道事業費 既成市街地雨水事業費	
施策	1-6 安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備		主管課	土木部 河川課		主管課長	鈴木 和男
事業目的	対象(誰を・何を) 向小金2、3丁目の市民		意図(どういう状態にしたいのか) 向小金雨水幹線を延伸し、向小金2、3丁目の浸水被害を防ぐ。				
事業内容	事故繰越しとしたJR軌道横断設計施行委託、及び、同軌道内の支障物件であった水道管の移設委託工事が完了し、平成26年度からは雨水幹線工事に着手する。						
事業の実績	向小金雨水幹線整備率	0.0	%	決算額	事業費計		105,936,618 円
	設計業務委託成果	6	業務		国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	18,392,792 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	87,543,826 円			
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況		繰越の有無 有 継続費の設定 無 前年度からの事故繰越額21,469,977円 翌年度への明許繰越額1,080,000円				



向小金雨水幹線整備事業施工イメージ